

第4回 脳をみるシンポジウム in 三原

定員
400名
申込順

高齢社会を迎え、健やかに長寿をまっとうすることは、多くの人々の願いとなりました。認知症の克服も、その願いを叶えるための重要な課題です。

そこで、今回は、『認知症克服への挑戦』をテーマに掲げました。このテーマにふさわしい御活躍中の方々を講師にお招きし、認知症の病態や治療、最近の知見や具体的取り組みにまで迫る講演会を企画しました。

産学官連携して地域社会で知識を共有することによって、認知症克服の夢に一步でも近づきたいと存じます。

どなたでも御参加いただけます。奮って御参加ください。

日時 2007年
2/17 (土) 13:30~16:30
(開場13:00)

会場 三原リージョンプラザ 文化ホール
所在地：三原市円一町2丁目1-1 TEL: 0848-64-7555
交通：JR三原駅から徒歩10分

参加費 500円 (学生無料)

申込方法 事前に、氏名・連絡先・所属(学校名や勤務先等)をご記入の上、下記事務局まで電話、FAX、E-mail いずれかの方法でお申し込みください。
県立広島大学三原キャンパス総務課内
「脳をみるシンポジウム in 三原」実行委員会事務局
TEL: 0848-60-1120(代表) FAX: 0848-60-1134
E-mail: mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

プログラム

開会挨拶

演題・シンポジスト
座長 石崎 文子 (県立広島大学保健福祉学部教授)
山田 徹 (山田脳神経外科院長)

認知症なんてこわくない —認知症とはどんな病気か?—

広島大学名誉教授・洛和会京都臨床治験センター 所長 中村 重信

生活リスクとつきあう —認知症をもつ人々とリスクコミュニケーションの試み—

広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座教授 宮口 英樹

アルツハイマー病治療薬開発への夢を追って

京都大学大学院薬学研究科創薬神経科学講座教授 杉本 八郎

閉会挨拶

主催 「脳をみるシンポジウム in 三原」実行委員会・三原地域連携推進協議会
【県立広島大学(三原地域連携センター)、三原市医師会、三原商工会議所、三原市】

後援 中国新聞備後本社、社団法人広島県看護協会、社団法人広島県理学療法士会
社団法人広島県作業療法士会、広島県言語聴覚士会、社団法人広島県放射線技師会
三原市介護支援専門員連絡協議会、社団法人日本介護福祉士会広島県支部

協賛 エフピー株式会社

認知症克服への挑戦